



はやし よしかず 議員
平成会 林 善和

農業の研修制度について

問 市の農業は、様々な生産品目で県内でも上位を占め、かなりのポテンシャルがあると言えます。遊休農地を集約し、生産性を向上させることが重要ですが、基幹産業と言いつつも力を入れていないと思います。研修はどのようなものがあるのか伺います。

答 市長 農業委員でもある議員の協力を得ながら、今の時代に合った農業を目指し、市としても一緒に頑張って取り組んでいければと思います。

答 経済環境部長 独自の研修制度は設けていませんが、県、山武農業事務所及び県立農業大学校での研修を案内しています。経験別の新規就農者を対象としたセミナーや、農業者同士のつながり、先進農家等への派遣など、実践的な知識を身につける場として、活用されています。

問 それらの研修制度に対して、どのような支援をしていますか。

答 経済環境部長 市では、平成30年度から、農業経営体育成セミナーの受講者に、年額6万円の助成をしています。資金の申し込み等についても案内しています。

問 日本の優れた農業技術を後世に伝えるため、外国人農業研修制度を導入し、農業経営の改善につながればと思います。市の新規就農者数を伺います。

答 経済環境部長 平成29年度の新規就農者は14名です。そのうち、農家後継者は10名です。

問 市の新規就農者支援策について伺います。

答 経済環境部長 農地中間管理機構による輪旋や、農業次世代人材投資資金、栽培技術の助言・指導を行っています。

問 新規就農者の農地について伺います。

答 経済環境部長 新規就農者等が参入しやすいよう、下限面積要件の緩和について協議しています。

問 有害鳥獣対策の取り組みについて伺います。

答 経済環境部長 平成28年度の捕獲数はアライグマ等62頭、29年度は97頭で特にイノシシが多く、箱わな、

くくりわなを91台増やし、山武北部猟友会に駆除の委託をしています。

問 有害鳥獣の駆除体制は十分ですか。

答 経済環境部長 わな猟や猟銃の免許取得者に対し、経費の一部補助を行い、取得者を増やすようにしています。

問 合併時に農林水産部門の職員が大幅に削られました。近隣市と比べてどうですか。

答 経済環境部長 平成30年度の農林水産部門の職員数は、東金市17名、大網白里市18名、本市は14名です。

問 市の農地面積は近隣市に比べてかなり広いと思いますがどうですか。

答 経済環境部長 経営耕地面積は、東金市約2304ha、大網白里市約1706ha、本市は約3720haであり、最も大きい面積を有しています。

観光振興について

問 市は日本有数の九十九里海岸を臨み、夏の観光振興に力を注げば、活力あるまちづくりが出来るものと考えます。蓮沼ウォーターガーデンの過去3年間の入場者数の推移について伺います。

答 経済環境部長 平成27年、23万804人、平成28年、21万7331人、平成29年、17万4697人、平成

30年は現在19万8623人で、20万人を超える入場者が期待できます。

問 入場者を増やす取り組みについて伺います。

答 経済環境部長 蓮沼ウォーターガーデンでは、各種イベントの企画、トークショーや地元ダンスチームのショーの開催等、集客に努めています。

問 海水浴客を増やす取り組みについて伺います。

答 経済環境部長 県内外のイベントPRや、観光情報誌への情報提供、体験イベントの実施等を行っています。また、ブルーフラッグの取得を目指しています。

問 ブルーフラッグとはどんな制度ですか。

答 経済環境部長 ビーチやマリナを対象とした水質環境教育等、安全サービスの国際基準で、県内初の認証を目指し、海水浴場の発展を図ります。



多くの海水浴客が訪れる本須賀海岸